

ダンスワークショップ

1. オハッド・ナハリン GAGA ダンスワークショップ

日 時：2011年5月21日(土) 13:00~14:30 GAGAピープル
15:30~17:00 GAGAダンサー

会 場：愛知県芸術劇場大リハーサル室

講 師：ドロン・ラズ

参加者数：GAGAピープル 84人

GAGAダンサー 45人

合計 129人

ダンスを体験することで、体を動かすことの喜びを体感してもらうとともに、ダンスを理解する一助となるワークショップを開催した。また同時にトークショーを開催し、世界の第一線で活躍している振付家の言葉を聞くことのできる機会を提供した。

講師を務めたのは、イスラエルが誇る世界的振付家オハッド・ナハリン（バットシェバ舞踊団）の元で長年ダンサーを努め、現在はGAGAの専門的な指導者であるドロン・ラズ氏。ナハリンが考案した動きのテクニク『GAGA（ガガ）』は、ナハリン自身のリハビリテーションのために考案した「動く喜び」を実感するための運動である。GAGAは、誰でも参加できる運動なので、一般の方を対象にしたもの（ピープル）と、地域のアーティスト育成のためダンス経験者向けのワークショップ（ダンサー）も開催した

バットシェバ舞踊団の芸術監督で、世界的な振付家であるオハッド・ナハリンが直接指導した昨年に引き続いてのワークショップということで、昨年の参加者に加え、さらに沢山の参加があった。

GAGAは、外見の姿形にとらわれがちな通常のダンスとは異なり、鏡をみない、見学者がいないなど、人の目を気にすることなく、自分の体の内側に集中できるように意図されている。参加者は自分の中に目を向けながら、彼の言葉に従って体を動かしていくと、自然と脳と体が繋がったり、通常は感じたことのないからだの隅々まで意識をすることができるという。楽しく体を動かしながら、経験のある人もない人もその人の段階に応じて、新しい発見のできる内容であった。

継続的に開催することで、より深く、ひとつのメソッドを学ぶことができる良い機会となったと感じている。